

【通 信】

総 会

日 時：2021年6月27日（日）15:30～16:30

会 場：Zoom 遠隔会議にて開催

1. 議題

(1) 2020年度事業報告および決算報告

2020年度事業報告

① 研究会・総会の開催（詳細は会誌17号【通信】欄参照）

・第1回研究会・総会

研究会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止。

総会：2019年度決算および事業報告、2020年度事業計画・予算案について、書面（電子メール）にて開催

・第2回研究会 主催：北海道民族学会、共催：伊達市教育委員会

2020年10月31日（土）13:30～17:00 会場：だて歴史の杜カルチャーセンター

展示室観覧 案内・解説：黒田格男氏（だて歴史文化ミュージアム）

特別講演「17世紀の有珠アイヌの生活と災害の影響」

永谷幸人氏（伊達市教育委員会生涯学習課文化財係学芸員）

研究発表：3件

2020年11月1日（日）9:00～11:40

エクスカーション：史跡北小金井貝塚、バチラー夫妻記念教会堂、有珠善光寺宝物館

・第2回北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇親会・卒論修論博論合同発表会

2021年2月20日（土）10:00～17:20 会場：Zoom 遠隔会議にて開催

研究発表：12名

②『北海道民族学』第17号の刊行（2021年3月刊行、116ページ）

論文3、研究ノート2、書評・紹介4

③新規入会9名

2020 年度決算報告

(期首：2020 年 5 月 1 日 期末：2021 年 4 月 30 日)

収 支 報 告

収入の部	予算 ①	実績 ②	差額 ②-①	備考
前年度繰越金	763,906	763,906	0	
会費収入				
当該年度会費	219,000	195,000	△ 24,000	65 件、免除 7 名
過年度未収金	6,000	3,000	△ 3,000	1 件
先払い分	0	141,000	141,000	47 件
小計	225,000	339,000	114,000	113 件
会誌販売収入	10,000	7,800	△ 2,200	
雑収入	0	5	5	銀行利息
2019 年度収入合計	998,906	A 1,110,711	111,805	

支出の部	予算 ③	実績 ④	差額 ③-④	備考
2020 年度会誌印刷費	150,000	103,180	46,820	
通信費	12,000	32,709	△ 20,709	会誌送料を含む
文具・消耗品費	5,000	9,475	△ 4,475	コロナ感染予防対策
アルバイト謝金	60,000	9,000	51,000	研究会受付、会誌発送
講師謝金	25,000	0	25,000	
役員旅費補助費	15,000	0	15,000	運営委員会オンライン開催のため
発表者旅費補助費	15,000	10,000	5,000	5000 円×2 名
ホームページ管理費	23,300	23,300	0	サーバ使用料 3300+謝礼 20000
会場運営費	50,000	0	50,000	
雑費	5,000	880	4,120	振込手数料
予備費	60,000	61,000	△ 1,000	学会賞(2019 年度)、広告費、慶弔費
2020 年度支出合計	420,300	B 249,544	170,756	

(単位：円)

2021 年度への繰越金 A - B = 861,167 円

以上、監査の結果、適正に執行されていることを確認しました。

2021 年 6 月 18 日

監査委員 出利葉浩司

2021 年 6 月 20 日

監査委員 小田博志

(2) 2021 年度事業計画および予算案

2021 年度事業計画

1. 総会の開催（第 1 回研究会と同時開催）
2. 研究会の開催（2 回：6 月、11 月）
 第 1 回研究会・総会：2021 年 6 月 27 日に Zoom によるリモート開催
 第 2 回研究会：2021 年 11 月 13 日（土）・14 日（日）に浦幌町立博物館で開催予定
3. 『北海道民族学』第 18 号の刊行（9 月末日エントリー締切、11 月 15 日原稿締切）
4. 北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区研究懇談会 第 3 回卒論・修論・博論合同発表会の開催

2021 年度予算

収入の部	前年度実績	予算	備考
前年度繰越金	763,906	861,167	
会費収入			
当該年度会費	195,000	165,000	3000 円×55 人(現会員数 111-2021 年度会費先払分 44-退会者分 5-免除予想数 7)
過年度未収金	3,000	36,000	3000 円×12 件（現会員の会費未払い分）
先払い分	141,000	0	
小計	339,000	201,000	
会誌販売収入	7,800	10,000	
雑収入	5	0	
合計	1,110,711	1,072,167	

支出の部	前年度実績	予算	備考
会誌印刷費	103,180	120,000	
通信費	34,879	35,000	会誌送料を含む
文具・消耗品費	9,475	10,000	PC 用データ記憶装置(SSD)（128GB で 4000 円程度）
アルバイト謝金	9,000	60,000	会誌発送・編集、研究会受付等
講師謝金	0	25,000	共催イベント等
役員旅費補助費	0	15,000	運営委員会活性化
発表者旅費補助費	10,000	15,000	5000 円×3 名
ホームページ管理費	23,300	23,300	サーバー使用料（3,300 円）、作業謝礼（20,000 円）
会場運営費	0	50,000	研究会会場費、合同発表会経費等
雑費	770	3,000	振込手数料、コピー代、茶菓代等
予備費	61,000	60,000	学会賞（2020 年度）、広報費など
次年度繰越	859,107	655,867	
合計	1,110,711	1,072,167	

（単位：円）

(3) 総会議事

1. 2020 年度決算および事業報告、ならびに 2021 年度事業計画および予算案について、事務局から報告があり、原案通りに了承された。
2. 2020 年度学会賞について、奨励賞を阪口諒会員に授与することが報告された。
3. 役員改選について、2021 年度から任期 2 年間の新しい役員人事の提案があり、会員の承認を受けて新体制が発足した。
4. 日本学術会議への登録について提案があり、会員の承認を受けた。
5. 本年度第 2 回研究会は、11 月 13・14 日、浦幌町立博物館にて開催（新型コロナの感染状況により、オンライン開催の可能性あり）することが提案された。

2021 年度研究会（発表要旨は本号 54-65 頁に掲載）

第 1 回研究会プログラム

日 時：2021 年 6 月 27 日（日） 13:30～15:30

会 場：Zoom 遠隔会議にて開催

【研究発表】

- 1) 落合いずみ（室蘭工業大学・講師）
「日本語北奥方言からアイヌ語への「猫」の借用について」
- 2) 梅木佳代（北海道大学大学院文学研究院・博物館学研究室専門研究員）
「近代北海道においてオオカミに向けられた態度と認識」
- 3) 蟬塚咲衣（北海学園大学大学院文学研究科日本文化専攻・修士課程）
「地域間交流による民俗文化の継承と課題」

【総会・学会表彰式】

第 2 回研究会プログラム

日 時：2021 年 11 月 13 日（土） 13:30～17:00

11 月 14 日（日） 9:00～11:40（エクスカッション）

会 場：浦幌町立博物館

【特別講演】

講師：持田誠 氏（浦幌町立博物館・学芸員）

「浦幌の地理・歴史・博物館の役割」

【研究発表】

- 1) 平田昌弘（帯広畜産大学・教授）
「乳文化の体系的地域間比較—チベット・ヒマラヤ地域を事例とした文化の伝播・変遷論考—」

- 2) 大江克己（国立アイヌ民族博物館・研究員）
「平面形のアイヌ民族資料を対象としたX線 CT 装置による構造調査の有効性—樹皮衣・木綿衣・ござを中心として」
- 3) 中田篤（北海道立北方民族博物館・主任学芸員）
「サハ共和国における家畜飼育の変遷—ソ連崩壊から現在まで」
- 4) サリントヤ（北海道大学文学院・博士後期課程）
「モンゴル牧畜社会における人間と動物のコミュニケーションに関する人類学的な研究」

北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇談会

第3回卒論・修論・博論合同発表会

共 催：北海道民族学会、日本文化人類学会北海道地区懇談会

日 時：2022年2月21日（月） 13:00～18:30

会 場：Zoom 遠隔会議にて開催

北海道地区の大学に所属する学生による、卒業論文・修士論文・博士論文をもとにした10件の研究発表があった。

【研究発表】

- 1) 小南光（帯広畜産大学・平田研究室）
卒業論文「現代十勝アイヌの植物利用と森林認証制度の課題」
- 2) 田村実咲（北海道大学大学院・文学院・博物館学研究室）
修士論文「北海道木彫り熊の「サイン」に関する研究—札幌・旭川・昭和新山における制作・販売状況との関係から—」
- 3) ウバルデ・マリアン・フォルタハダ（北海道大学大学院・文学院・博物館学研究室／フィリピン国立博物館）
博士論文「博物館におけるアイヌ民族の参加状況について—二風谷コタンの事例研究を通して—」
- 4) 西希（北海道大学・文学部・文化人類学研究室）
卒業論文「現代短歌の人類学」
- 5) 蟬塚咲衣（北海学園大学大学院・文学研究科・日本文化専攻）
修士論文「祭礼の可視化とアーカイブ—奥尻島における震災からの復興と継承過程を事例に—」
- 6) 泉友花（北海道大学大学院・文学院・文化人類学研究室）
修士論文「標本を「所有」する—「標本」の所有的関係の人類学—」
- 7) 邱思瑩（北海道大学大学院・文学院・文化人類学研究室）
修士論文「コロナ禍にアマビエを象る—北海道の作り手の事例を中心に—」
- 8) 加賀田直子（北海道大学大学院・文学院・文化人類学研究室）
修士論文「身体経験としての狩猟—北海道斜里町の狩猟実践を通じて—」
- 9) 福島令佳（北海道大学大学院・文学院・文化人類学研究室）
博士論文「自然栽培が織りなすケアの場：農福連携を行う生活介護・就労継続支援 B 型事業所のエスノグラフィー」
- 10) 田中佑実（北海道大学大学院・文学院・文化人類学研究室）
博士論文「フィンランドの樹木とともに生きる世界—死者のカルシッコに見る「エラマ」の物語—」